

板柳町統合小学校整備に関する 町議会議員による 公開討論会

入場無料
全席自由

【第1回目】

8月8日(木)

午後7時～9時

【第2回目】

8月11日(日)

午後2時～4時

板柳町多目的ホール あぶる

8月18日(日)に行われる住民投票は、「板柳中学校に隣接し、統合小学校を新築する」と「板柳南小学校を統合小学校として、長寿命化改修する」の2つの選択肢のどちらに賛成するか、町民のみなさんの意思を確認するものです。

公開討論会は、「新築を主張する町議会議員」と「改修を主張する町議会議員」による討論や意見を聞いたり、参加者(町民)からの質問に答える機会です。

住民投票に向け、有権者の皆様の意思決定にお役立てください。

※ ご家族やご友人など、お誘い合わせの上ご来場ください。

※ 1回目と2回目ともに、同じ内容での開催となります。

主催 : 板柳町議会

後援 : (一社)公開討論会支援リンカーン・フォーラム

お問い合わせ先 : 板柳町議会事務局 0172-73-2111



裏面もご覧ください

これまでの議会での論点

統合小学校について、各議員（会派）の主張は以下のようになっています。

○ 板柳中学校に隣接して統合小学校を「新築」する

（公正会） 長内 良蔵 ・ 葛西 幸男 ・ 工藤 貢

町の中心部でもある板柳中学校の場所に、最新技術を用いて 100 年以上耐用できる統合小学校を新築する方が、子ども達に誇れる、喜んでもらえる立派な統合小学校となり、長期に使用できる事から工事費が多くかかっても決して高くないものとする。

○ 南小学校を利用した統合小学校として「長寿命化改修」をする

（新政会） 會津 大郎 ・ 三浦 和馬 ・ 佐藤 聖也 ・ 工藤 大明 ・ 今 浩一

（無所属） 佐藤 文俊

老朽施設が多い当町は今後、役場・旧板柳高校・消防団屯所などの建物整備のほか、様々な既存建物の改修が必要となり、町の財政に負担となってくる。

当町の人口推計は 2050 年には現在の人口の約半分となる 6, 000 人程度になる見込みが示され、将来において町の財源の減収は容易に予想される。

また小学生は、現在の 455 人から大幅減の 150 人程度になるという見込みが示され、将来は現在の板柳中学校に全児童が収容してしまう事から、新築してもその建物は 20 数年後には不要なものとなる。

将来も見据え、町の財政が圧迫されないよう、限りある財源を有効に適正執行する為に、負の遺産とならないよう既存施設を利活用する事は、町全体の事を幅広く考える上で必要な事であるとする。

学校整備以外にも課題が山積する中で、新築より 20 億円以上の予算削減ができ、新築同様の機能が整備できる町が考える南小学校を長寿命化改修しての統合が最適とする。

○ 既存校を利用した統合小学校として「最低限の改修」をする

（創和会） 佐藤 洋治 ・ 鈴木 清孝 ・ 濱名 康治

約 5 億円程度の工事費で改修を行い、既存小学校を利用した統合小学校とする。

約 31 億円もかかる改修費は、町の財政も考えると予算が掛かり過ぎであり、費用を抑えた最低限の改修をするのが望ましいとする。